

# ○「宇治田原町の2地区でスタート」

(京都府綴喜郡宇治田原町第1回地区連絡会議)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

遊休農地の  
発生防止・  
解消

新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

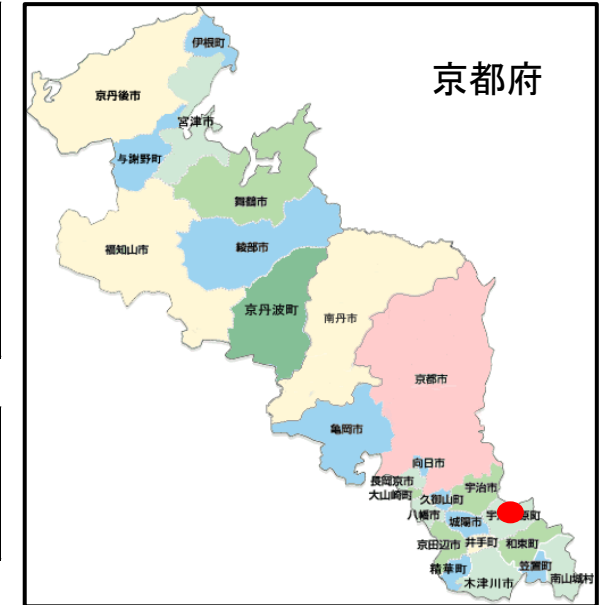
## 1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年8月10日
- 場 所: 宇治田原町役場
- 出席者: 農業委員14人、最適化推進委員9人  
宇治田原町産業観光課長  
農業委員会事務局 2人
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



## 2 地区の特徴、状況、課題

- 茶、きゅうり、みずな、ねぎ、水稲などが栽培されているが、高齢化により遊休農地が増加している。
- 茶の担い手は、茶価の低迷から乗用摘菜機など大型機械の導入による規模拡大に迫られ、農道に接した、平坦で、面的にもまとまりのある農地が求められている。



## 3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 利用状況調査の結果を遊休農地の再生利用のための基礎資料として活用する。
- 担い手は道に接した、排水の良い農地を借してほしがっている。
- 茶園にできる可能性のある農地は担い手につなげたい。
- 地域に担い手が不在で、どうしたら良いのか。
- 遊休農地がどんどん増え、市民農園のような利用では追いつかない。
- 初めての地区連のため、情報交換の場で終わったが、いくつかの課題が出されたように思う。
- 今回の地区連の結果を取りまとめ、次回に振り返りとして提供し、どうしたら良いのかを話し合ってもらいたい。

## 4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援